

平成 2 5 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 2 5 年 4 月 1 日

至：平成 2 6 年 3 月 3 1 日

国立大学法人静岡大学

平成 2 5 年 度 決 算 報 告 書

国立大学法人静岡大学

(単位 : 百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,287	9,476	189	(注 1)
施設整備費補助金	5,437	4,017	△ 1,420	(注 2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	223	416	193	(注 3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	56	0	
自己収入	5,886	6,136	250	
授業料及び入学料検定料収入	5,718	5,664	△ 54	(注 4)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	31	31	(注 5)
雑収入	168	441	273	(注 6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,403	1,379	△ 24	(注 7)
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	402	262	△ 140	(注 8)
計	22,694	21,742	△ 952	
支出				
業務費	15,575	15,660	85	
教育研究経費	15,575	15,660	85	(注 9)
診療経費	0	0	0	
施設整備費	5,493	4,073	△ 1,420	(注10)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	223	416	193	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,403	1,191	△ 212	(注12)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	22,694	21,340	△ 1,354	
収入－支出	0	402	402	

注：百万円未満の端数については、四捨五入で表示してあります。

○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった補正予算の追加があったため予算額に比して決算額が189百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、総合研究棟改築Ⅱ期（農学系）の事業が翌年度に繰越となったことなどにより、予算額に比して決算額が1,420百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、独立行政法人）からの補助金の採択に努めたため、予算額に比して決算額が193百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料及び入学料検定料収入については、授業料等免除の実施や適正な定員管理に努め在籍者及び入学者が減少したことなどにより、予算額に比して決算額が54百万円少額となっています。
- (注 5) 財産処分収入については、主として都田団地建物・浜松艇庫敷地売却などにより、予算額に比して決算額が31百万円多額となっています。
- (注 6) 雑収入については、主として間接経費収入、財産貸付料収入などの増により、予算額に比して決算額が273百万円多額となっています。
- (注 7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたものの、予算額に比して決算額が24百万円少額となっています。
- (注 8) 目的積立金取崩については、年度途中での計画の見直しによる事業の繰延により、予算額に比して決算額が140百万円少額となっています。
- (注 9) (注 1) 及び (注 4) に示した理由等により、予算額に比して決算額が85百万円多額となっています。
- (注10) (注 2) に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,420百万円少額となっています。
- (注11) (注 3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が193百万円多額となっています。
- (注12) (注 7) に示した理由や事業繰越となったことにより、予算額に比して決算額が212百万円少額となっています。